
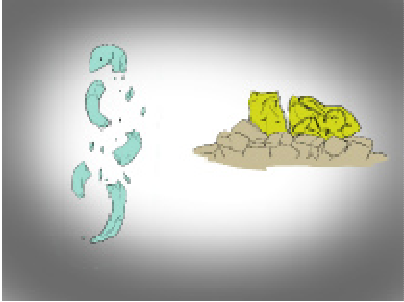




聖書	第二列王記 18章、19章、第二歴代誌 29章～32章
タイトル	ヒゼキヤ王（預言者イザヤ）
教案日付	2015年10月18日

項目	イラスト	お話し
I	a 	ヒゼキヤ王は、南ユダ王国の王様でした。彼のお父さんであるアハズ王はアッシリヤの国と仲良くしていて、そこから入り込んできた偽物の神様を拝んでいました。ユダ王国の人々もみな偶像を拝んでいたのです。しかし、ヒゼキヤは、本当の神様を信じていました。彼が王様になると、壊れていた神様の宮を修理して過ぎ越しの祭りをまた行うようにしました。
	b	
	c 	ヒゼキヤは、偶像とその祭壇を取り除きました。ヒゼキヤとユダ王国の人々は、喜んで神様を礼拝しました。
II	a 	ところが、とても力の強い大きな国であるアッシリヤがユダ王国を攻めてきたのです。町は次々に占領されて、じわじわとエルサレムの都に近づいてきます。ヒゼキヤは、何とか助けてほしいとアッシリヤの王様に金や銀の宝物を送りました。でも、そんな願いを聞いてくれるような相手ではありません。
	b 	そこで、ヒゼキヤはエジプトに助けを求めようとしたのですが、それもだめでした。ついにエルサレムの都は、アッシリヤの大軍に取り囲まれてしまいました。

項目	イラスト	お話し
Ⅱ		<p>アッシリヤの将軍ラブ・シャケは、ヒゼキヤ王とイスラエルの神様をばかにしました。「ヒゼキヤ王は、一体何を頼りにしているんだ。どんな神様だ？我々にはかなうはずがない！守ってなんかくれないぞ！」</p>
Ⅲ		<p>ヒゼキヤは、へりくだって神様に助けを求めて祈りました。そして、預言者イザヤに祈ってくれるように頼みました。</p>
		<p>すると、イザヤはやってきて、「アッシリヤの者たちの言葉を恐れるな！神様は必ず助けると語っておられる。」と、神様の約束を伝えたのです。</p>
		<p>そしてその夜、神様は主の使いを遣わして一晩のうちにアッシリヤの大軍を打ち倒されました。</p>
結論 (適用)		<p>あなたは絶体絶命の大ピンチになったことがありますか？私たちは助けが必要な時、すぐに目に映るものに助けを求めてしまうかもしれませんが、ヒゼキヤ王が大ピンチになった時、神様は人ではなく神様に信頼するようにと導かれたのです。人間の力、人間の考えには限界があります。しかし、神様は無限のお方です。神様にはできないことは何もないのです。私たちもヒゼキヤ王にならって何よりもまず神様に信頼して、神様の助けを求めましょう。</p>

使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること